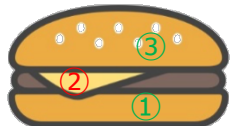


(公財) 北海道サッカー協会 強化指定審判員担当インストラクター

スキルアップ研修会②報告書

1. 日 時 令和6年7月21日(日) 9時～16時
2. 場 所 帯広の森球技場、帯広の森研修センター
3. 参加者 講師：村山 尚哉 (HKFA 審判委員会指導者部、サッカー1級審判インストラクター)
受講者：2名 (函館地区：山下浩司 氏、札幌地区：能登谷孝章 氏)
4. 研修内容 **主な研修内容は以下のとおり。**
 - 開講式・自己紹介・アジェンダ説明
 - 講義① ・試合分析実践
 - 講義② ・振り返り実践
 - 昼食・休憩
 - 講義③ ・試合分析共有、評価のすり合わせ
 - 閉講式、振り返り、解散か

35℃を超える猛暑の中、帯広の森球技場にて北海道リーグ第7節の首位攻防戦を観戦して行いました。
2名と少ない参加でしたが、実践重視で研修しました。1試合通して、審判員の良い点、課題点などメモを取り振り返りに向けてまとめます。試合終了後、まとめたものを参考に担当した審判員への振り返りを行いました。
『ハンバーガー』のようにネガティブ(課題点)はポジティブ(良かった点)で挟んであげるを基本に、審判員の考え方を引き出しながら、受け入れながら進めていきます。



③審判が納得感と次に向けポジティブな気持ちで終わる

②改善点

①雰囲気大切に、慰労から(印象でよかったこと)

振り返り後は、われわれ指導者で1試合通してのレフェリングを分析、共有しました。懲戒罰も含め、ポイントとなる事象は審判員の判定の根拠を確認すること、問題点があれば、どうすることが最善だったのか、その答えを審判員から引き出す質問や問いかけの重要性などを再確認しました。最後に評価点と各項目のすり合わせをして研修会を終えました。

まだまだシーズンは続きます。

『サッカーの魅力を最大限引き出すよう、フェアで安心・安全な試合環境を整備し、スムーズに試合を進める』

この目標を達成できる審判員を育成していくために学び続けたいと思います。

以下、参加者からのコメントです。

札幌地区 能登谷孝章

4月に開催されました研修会①では映像での指導実践でしたが、今回は道リーグの首位攻防戦を実際に観戦し、担当されたレフリーに試合後の振り返りまで行い、その後、講師、参加インストラクターでさらにその振り返りを行うという、より実践的な内容でした。

日頃アセッサー活動を行うなかで自身の課題として、特に審判員との振り返りでは、事象確認に時間を割いてしまうことが多く、審判員からどうすれば良かったかを引き出すことや、それを深掘りすること、具体的にどのようにすれば改善に繋がるかのアドバイスの難しさを感じておりました。今回参加させていただき、課題点を"具体的に引き出す"ことのヒントを得ることができたと感じております。しっかりと次の活動に活かしたいと思います。

白熱した試合内容はもちろん、大変有意義な経験をさせていただきました。ありがとうございました。



函館地区 山下浩司

今回のインストラクタースキルアップ研修会は、実際の試合を中心に据えた、実践的な内容でした。北海道リーグの首位対決で緊張感のある試合になりました。担当する審判員のレフェリングから、特徴・良かった点・改善点をとらえ、審判員と共に振り返りを行った後は、講師・受講者と共にレフェリングの分析・共有を行いました。

今回の研修で、“なぜそのような判断をしたのか”、“どう見えたのか”、“あの場面ではどうしたら良いか”、“次に同じような場面があったらどうするか”など、いかに審判員から考えを引き出し、次へのステップアップにつなげるかという、質問する力の大切さを再確認しました。また、審判員の課題を明確にするためにポイントを絞ることも重要なことであり、自分自身の今後に活かしていきたいと思っております。